

.....  
**本会記事**  
.....**「粉末冶金講座」スタート**

当協会では、過去に開催した粉末冶金に関する講座の内容を系統化し、粉末冶金の入門から最新の情報に亘って勉強していただく「粉末冶金講座」を7月からスタートすることになりました。内容の詳細は、本号掲載案内をご覧いただきたいと思いますが、今回は、過去の粉末冶金に関する講座を振り返って、今回の系統化新講座に至る経緯をご紹介します。

粉末冶金に関する講座は、「粉末冶金入門講座」として1969年に始まりました。第1回講座は、粉末冶金製品の現状と展望、微粒子、金属粉末、粉末冶金の各工程とその意義、超硬合金という内容で開催されました。その後、粉末冶金の基礎に加え、複合材料、高温材料、磁気材料、原子炉・宇宙材料といった関連技術内容も加えられました。この講座は、1978年まで10回開催されました。その後、5年の間隔を置いて「最新の粉末冶金技術講座」がスタートしました。この講座の第1回の内容は、粉末製造技術と粉末特性、機械部品の設計製造、CIP,HIP技術、焼結構造材料、焼結電気材料、超硬合金、形状記憶合金でした。この講座は、粉末冶金の基礎的な内容も含まれたものでしたが、主として粉末冶金関連分野のその時々最新の情報を提供するという内容でした。また、開催時期が不定で、6月から9月の間で日程が変動するというので、参加者にとって予定が立てにくいという難点があったようです。この講座は、1992年の第10回まで開催されました。因みに、第10回の内容は次の通りでした。金型内の粉粒体の流動シミュレーション、粉体の圧密成形シミュレーション、超高温金属間化合物のプラズマ溶解ガスアトマイズ技術、TiAl基合金成形材の粉末冶金による製造技術、金属粉末の射出成形、最近のメカニカルアロイング技術、高速遊星ミルによる準結晶とアモルファス合金の短時間生成。この講座は、当初そこそこの参加者が得られましたが、回を重ねるにしたがって少なくなるという結果でした。これは、毎回アップツアードテーマの設定が難しく、また、最新の話題に関しては多くの場所で講演や発表が行われて新鮮味という特徴が出しにくかったと思われる。

そこで、もう一度基礎にもどって新人教育を中心とする内容で1993年に「新粉末冶金入門講座」を開始しました。前出の「最新の粉末冶金技術講座」の内容は、前述したようにほぼ毎回内容が変わっていましたが、内容を基礎的事項中心とし、開催月を12月に固定することによって企業の新人教育に組み込んでいただきやすくなり、その結果、この入門講座は昨年の第26回まで、80名以上の参加が22回で、中でも100名以上の参加が10回という好評をいただきました。しかし、この講座の参加者にアンケートを取ったところ、入門者にとって講演内容が難しすぎるといった指摘を受けました。25回、26回ではこの点を講師の方にもお伝えし、改善して頂きましたが、“もっとやさしく”という声があり、協会の関係委員会において検討を重ね、この度、「粉末冶金講座」の開始に至りました。

過去に行なって来た粉末冶金に関する講座の内容を見直し、これらを系統化することによって、全く新しく携わる方から中堅研究者、技術者の方、さらに最新の情報を求める方に、十分な知識と情報を得ていただくという内容になっています。粉末冶金の入門者から、関わりの深さによってコースを選んでいただけるように3つのコース（講座）を設けております。入門講座では大学の教授から解り易い基礎内容を、基礎講座では大学の教授と粉末冶金企業の技術者から基礎的事項と現場の実情を、さらに、実用講座では粉末冶金関連技術の実情と今後の展開の可能性を経験深い協会会員に担当していただき、開催します。

本講座の内容を協会誌やホームページでご覧頂き、多くの会員の方にご参加いただきますようよろしくお願い致します。

(高山 義弘)